



平成28年

豊岡市政10大ニュース (日付順)

《問合せ》秘書広報課 ☎23-1114

●「クリーンパーク北但」ごみの受入れ開始(4月1日)

北但行政事務組合(構成市町：豊岡市、香美町、新温泉町)が森本・坊岡区(竹野地域)に整備を進めてきた北但ごみ処理施設「クリーンパーク北但」が、ごみの受入れを開始しました。クリーンセンター(高効率なごみ発電もできる施設)とリサイクルセンターを併設する環境に優しいごみ処理施設です。これに伴い、4月1日から、本市はごみの分別を6分別から9分別に増やし、排出の方法も見直しました。7月31日、施設は完成し、8月7日には、竣工式が行われました。



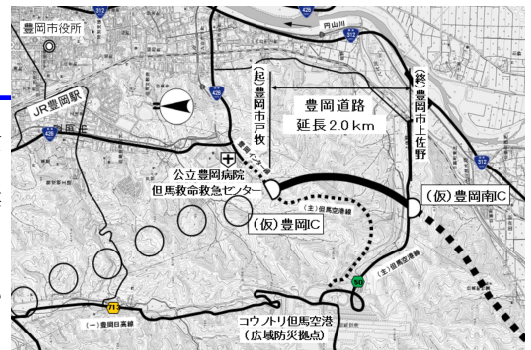
▲とよおか家族の日写真コンクール

●「地方創生(人口減少対策)」キックオフ(4月1日)

本市の最大の課題は「地方創生」、すなわち人口減少対策です。①暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている②多くの子もでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている—を5年程度で達成したい状態(戦略目的)に設定し、地方創生事業を開始しました。その実質的スタートとなる今年、市役所に地方創生事業を企画・推進する新たな部署も設置しました。

●北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」(戸牧～上佐野)新規事業化(4月1日)

北近畿豊岡自動車道は「日高豊岡南道路」(上佐野～日高町久斗)までが事業中ですが「戸牧～上佐野」の2.0kmの区間が「豊岡道路」として新規事業化されました。北近畿豊岡自動車道の延伸は、長年にわたる地域の希望であり「命と交流、危機管理の道」の実現に向けた大きな一歩となります。今後も引き続き、全線の早期開通に向けて、国などに対し要望活動を行っていきます。



▲このとりスタジアムの人工芝の上を走る中学生

●「豊岡総合スポーツセンター」リニューアルオープン(4月2日、6月4日)

豊岡総合スポーツセンターにある「このとりスタジアム」が4月2日、「陸上競技場」が6月4日に、それぞれリニューアルオープンしました。「このとりスタジアム」は、但馬唯一の全面人工芝の野球場となりました。「陸上競技場」は、第4種公認更新に合わせて、但馬で初の全天候型陸上競技場に生まれ変わるとともに、写真判定装置も導入し、豊岡で日本陸上競技連盟公認記録が取得できるようになりました。

●「一般社団法人豊岡観光イノベーション」設立(6月1日)

観光に着目したまちづくりを進める組織(DMO)として「一般社団法人豊岡観光イノベーション」を設立しました。民間と行政が協力して、観光客のニーズの分析や宿泊予約サイトの運営などを行っています。地域の事業者などと協力し、地域の素晴らしい素材を開発し、磨き上げて、観光客に豊岡の良さを伝えることで、地域の事業者がどんどん稼いでいける仕組みづくりを目指します。



▲DMO機構設立準備記者会見(2月18日)



●移住定住促進プロモーション開始！ スローガンは「飛んでるローカル豊岡」(7月7日)

本市への移住定住促進戦略推進のためのプロモーションツールとして、映像、ポスター、WEB サイト、ロゴマークを制作しました。スローガンは「飛んでるローカル豊岡」。本市は、徹底的にローカルの価値にこだわり、地域固有の文化や自然環境、人とのつながりなどの地域の資源を生かして、都会とは違う豊かさを追求していきます。そして、世界中から尊敬され、尊重されるまちを目指します。



▲ポスター

▲映像

▲映像QR

●「豊岡アートシーズン2016」初開催(7月22日～11月29日)

ダンス・演劇の公演、コンサート、展覧会など、全34の個性的なプログラムと、市内のさまざまな観光・文化資源を通して、豊岡の魅力(再)発見してもらうアートのお祭り「豊岡アートシーズン2016」を初めて開催しました。7月22日に「とよおかアート縁日」、8月12・13日に「Kinosakinomato pee キノサキノマトベ」公演、9月22日に「ひつじ」豊岡公演、11月4～11日に「永楽館歌舞伎」、11月8～13日に「おんぷの祭典」など、多くの方が豊岡ならではのアートや文化との出会いを楽しみました。



▲アート縁日



●10年ぶりの見直し「豊岡市防災マップ」(11月1日)

10年ぶりに風水害を想定した防災マップを作成しました。市内の359の行政区ごとにA3判となっており、縮尺は、従前のマップが1/15,000であるのに対し、新しいマップは1/3,000～1/5,000程度に拡大しました。また、新たに「土砂災害が発生した場合に影響が及ぶ範囲」と「堤防が決壊した場合の家屋倒壊危険区域」を示し、住宅ごとの危険度をより明確にしました。

●「豊岡市公共施設再編計画」 「豊岡市公共施設等総合管理計画」策定(11月1日)

公共施設の建て替えなどに伴う多額の財政負担を軽減させ、施設保有量の最適化(総量縮減)を実行していくため、公共施設再編計画を策定しました。また、公共施設(いわゆるハコモノ)、インフラ施設(道路橋りょう等)、公営企業施設(上下水道施設)の基本的な考え方と管理の方針を示した公共施設等総合管理計画も策定しました。



▲現在の配置・機能を維持する市民会館



▲brushstrokeの総料理長・山田 勲さんと中貝市長(店頭で)

●世界も認めた！コウノトリ育む農法(11月、12月3・4日)

高級寿司・創作和食のbrushstroke(ニューヨーク市)への「コウノトリ育むお米(無農薬)」の納品が決まり、11月から本格的な輸出をスタートさせました。本市は、この取引で、コウノトリ育むお米のイメージをさらに向上させ、さらなる海外販路の拡大に取り組みます。

また、コウノトリ育む農法で栽培されたお米が、12月3・4日に開催された第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で、金賞と特別優秀賞を受賞しました。